

コースコード: CI-CLACCM

税込価格:660,000円(税抜価格:600,000円)

日数:5日間

前提条件

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

- ・インターネットWebブラウザの知識と一般的なコンピュータの使い方についての知識
- ・ネットワーク技術の知識 ・音声とビデオの知識

下記のコースを受講済み、または同等の知識を有する方

CLCOR (Implementing and Operating Cisco Collaboration Core Technologies)

受講対象者

- ・CCNP Collabolation認定の取得を目指す方
- ・シスコ認定スペシャリスト Call Control & Mobility Implementationの取得を目指す方
- ・Cisco Collaborationの高度なコールコントロールソリューションとモビリティサービスの設計、実装、およびトラブルシューティングに携わるコラボレーションエンジニア
- ・Cisco Collaborationの高度なコールコントロールソリューションとモビリティサービスのサポートとト ラブルシューティングに携わるアドミニストレータ

コース概要

このコースでは、高度なコールコントロールとモビリティサービスについて学習します。Cisco Unified Communications Managerの機能を使用して、通信インフラストラクチャを拡張性、可搬性、安全性の高いコラボレーションソリューションに統合する方法を学習します。また、グローバル化コールルーティング、グローバルダイヤルプランレプリケーション、Cisco Unified Mobility、Cisco Extension Mobility、Device Mobility、SIP/URIコールルーティング、コールアドミッションコントロール、Cisco Unified Communications Manager ExpressおよびSRSTゲートウェイテクノロジ、Cisco Unified Board Element Callの展開、シグナリングおよびメディアプロトコル、コールカバレッジ、時刻ルーティングなど、豊富な機能を講義とラボ演習を通じて学習します。

目的

- ・SIP、H.323、およびメディアプロトコルの分析とトラブルシューティングを行う
- · Cisco Unified Communications

Managerで時刻ルーティング、コールパーク、コールピックアップ、ミートミー会議を実装する

- ・Cisco Unified Communications Managerでコールカバレッジを実装する
- ・Cisco Unified Communications Managerデバイスモビリティの設定とトラブルシューティングを行う
- · Cisco Unified Communications

Managerエクステンションモビリティの設定とトラブルシューティングを行う

· Cisco Unified Communications

Managerユニファイドモビリティの設定とトラブルシューティングを行う

- ・Cisco Unified Communications Manager ExpressでSIP電話機を実装する
- · Cisco Unified Communications

Managerクラスタ内およびクラスタ間でのグローバライズドコールルーティングを実装する

・Cisco Unified Communications ManagerおよびCisco IOS

XEゲートウェイへのMGCPフォールバックのSRSTを実装する

・Cisco Unified Communications ManagerでのコールアドミッションコントロールとAARを実装する

- ・クラスタ内およびクラスタ間のコールに対する、Cisco Unified Communications Human Capital ManagerでのURIコールを実装する
- ・マルチサイトCisco Unified Communications Manager展開のトラブルシューティングを行う
- ・Cisco Unified Communications Managerクラスタ間でのILS実装と、GDPRの有効化を行う
- ・Cisco Unified Border Elementの設定とトラブルシューティングを行う

アウトライン

- ・シグナリングとメディアプロトコルの分析とトラブルシューティング
- ラボ 1: SIP、H.323、およびメディアプロトコルの分析
- ラボ 2: SIPとメディアプロトコルのトラブルシューティング
- ・Cisco Unified Communications Managerの補助的なサービスの実装
- ラボ 3: Cisco Unified Communications Managerの補助的なサービスの実装
- ・Cisco Unified Communications Managerでのコールカバレッジの実装
- ラボ 4: Cisco Unified Communications Managerでのコールハンティングとコールキューイングの実装
- ・Cisco Unified Communications Managerデバイスモビリティの設定とトラブルシューティング
- ラボ 5: デバイスモビリティの設定
- ラボ 6: Cisco Unified Communications Managerデバイスモビリティのトラブルシューティング
- · Cisco Unified Communications
- Managerエクステンションモビリティの設定とトラブルシューティング
- ラボ 7: Cisco Unified Communications Managerエクステンションモビリティの設定
- ラボ 8: Cisco Unified Communications
- Managerエクステンションモビリティのトラブルシューティング
- ・Cisco Unified CMユニファイドモビリティの設定とトラブルシューティング
- ラボ 9: Cisco ユニファイドモビリティの設定
- ラボ 10: Ciscoユニファイドモビリティのトラブルシューティング
- ・Cisco Unified Communications Manager Expressの実装
- ラボ 11: Cisco Unified Communications Manager Expressでのエンドポイントの実装
- ラボ 12: Cisco Unified Communications Manager
- Expressでのエンドポイントアドレス設定とコールルーティングの実装
- ラボ 13: Cisco Unified Communications Manager Expressでの通話権限の実装
- ラボ 14: Cisco Unified Communications Manager
- Expressでのハントグループ、コールパーク、ページングの実装
- ・グローバライズドコールルーティングの実装
- ラボ 15: グローバライズドコールルーティングの実装
- ラボ 16: TEHO、PSTNバックアップ、およびCoSのグローバライズドコールルーティングの実装
- ・リモートサイトサバイバビリティの実装
- ラボ 17: MGCPフォールバックとサバイバブルリモートサイトテレフォニーの実装
- ・Cisco Unified Communications Managerでのコールアドミッションコントロールの実装ラボ 18: CACの実装
- ・Cisco Unified Communications ManagerでのURIコールの実装
- ラボ 19: マルチサイト展開におけるURIベースのダイヤルプランの実装
- ・マルチサイトCisco Unified Communications Manager導入のトラブルシューティング
- ラボ 20: グローバル化コールルーティングのトラブルシューティング
- ラボ 21: コールアドミッションコントロールのトラブルシューティング
- ・グローバルダイヤルプランレプリケーションの検証
- ラボ 22: グローバルダイヤルプランレプリケーションの実装
- ・Cisco Unified Border Elementの設定とトラブルシューティング
- ラボ 23: Cisco Unified Border Elementの実装
- ラボ 24: Cisco Unified Border Elementのトラブルシューティング